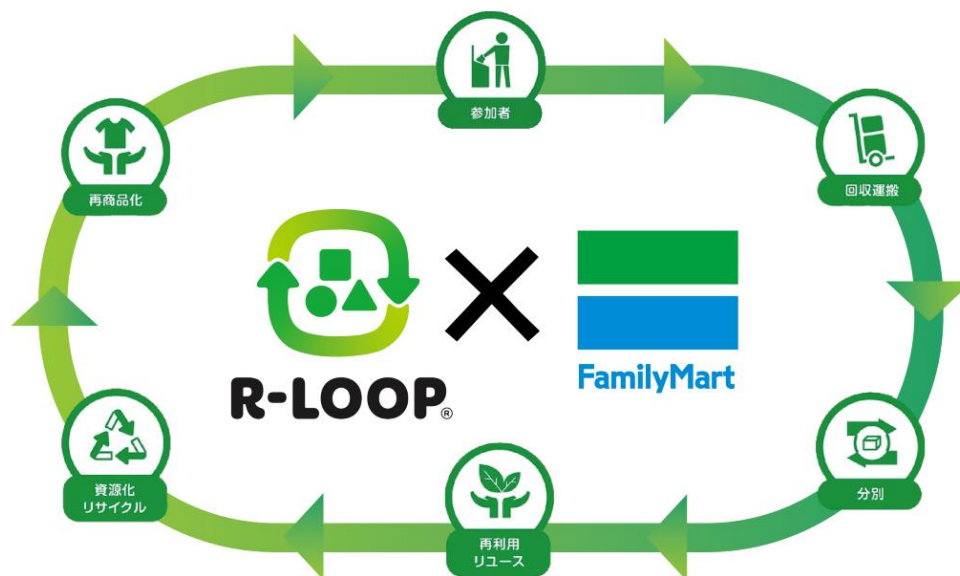


ファミリーマート×ブックオフ
衣料品・雑貨回収ボックスの実証実験を開始
～ファミリーマート店舗が資源循環の新たな拠点へ～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：小谷建夫）は、2026年9月に創立45周年を迎えます。継続して取り組んできた5つのキーワードを土台とし、「いちばんチャレンジ」を合言葉に活動をしていきます。このたび「いちばん環境にやさしい」取り組みとして、ブックオフコーポレーション株式会社（本社：神奈川県相模原市、代表取締役社長：堀内康隆）と共同で、「捨てる」を「次へつなぐ」体験に変える、衣料品・雑貨の回収ボックス「R-LOOP（アールループ）」を店内に設置する実証実験を、2026年4月13日（月）から開始します。

本実験は、住宅街に近い東京都世田谷区・杉並区を中心とした約30店舗で実施します。「手軽なリユース」による利便性やお客さまのニーズ、環境への貢献度などを検証した上で、今後の全国展開を検討していきます。



■ 社会的な背景・意義：廃棄物削減を目指し「すてないライフスタイル」を提案

現在、日本では年間約56万トンもの衣料品が焼却・埋め立て処分されており、その再資源化が大きな社会課題となっています（※）。一方で、「まだ使えるものを捨てるのはもったいない」と感じながらも、リユースやリサイクルを日常に取り入れる際の手間や時間が、大きなハードルとなっている側面もあると考えられます。

※環境省「令和6年度循環型ファッションの推進方策に関する調査業務」報告書概要版（2025年7月）

https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/goodpractice/materialflow_reiwa6.pdf

ファミリーマートはこれまで、全国 16,400 店以上の店舗網を活かし、地域社会に貢献する活動を推進してきました。その一環である「ファミマフードドライブ」は、家庭の余剰食品を回収し、地域の支援が必要な方へ届ける取り組みで、現在は約 4,900 店（2026 年 3 月末時点）で展開しています。

今回の実証実験では、このネットワークを衣料品や雑貨の分野にも広げます。リユース・リサイクルの専門的なインフラを持つブックオフグループと連携し、コンビニを「資源循環の新たな窓口」として機能させることで、より身近な形での環境貢献を推進してまいります。本取り組みによる設置店舗の拡大により、将来的には年間約 4,000 トンの衣料品廃棄削減を目指します。

本取り組みを通じて、生活者が日々の暮らしの中で無理なく「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」に参加できる社会を実現したいと考えています。お買い物ついでに不要品を「入れるだけ」という手軽な体験が、お客さまのライフスタイルにどのように定着していくか、その可能性を検証します。

■ 本実証実験の 3 大ポイント

① 回収ボックスに入れるだけ。10 秒で完結するリユース体験

店内に設置された専用ボックスに、衣類や雑貨をそのまま入れるだけ。梱包や発送の手間、対面での査定待ちといった物理的・心理的なハードルがありません。忙しい毎日の中でも、お買い物ついでにリユース・リサイクルに参加できる仕組みです。

② 預けた先が見える。トレーサビリティで「その後」を約束

回収ボックスに入れていただいた大切な品物は、責任を持って次の役割へと繋がります。ブックオフグループが展開する海外リユースショップ「Jalan Jalan Japan（ジャラン・ジャラン・ジャパン）」でリユースするとともに、基準に満たない衣料品などはパートナー企業がリサイクルいたします。

また、設置場所から回収する際の全回収袋に識別シールを貼付し、回収量やリユース・リサイクル実績をデータベースで管理することで、トレーサビリティ（追跡可能性）を確保します。



③ 「捨てない」が「寄付」に。1kg = 1 円の社会貢献

回収された不要品をリユースした量に応じて（1kg あたり 1 円）、環境保護や社会課題解決に取り組む NPO 法人などの任意の団体へ寄付が行われます。お客さまはボックスを利用するだけで、ご自身の「もったいない」という想いを、直接的な社会貢献へつなげることができます。

■ 「手放したモノ」がたどる、リユースとリサイクルの流れ

お客さまがボックスに入れた品物は、以下のプロセスで新しい価値へと生まれ変わります。

①【リユース】海を越えて、マレーシアやカザフスタンの笑顔へ

まだ使える衣類や雑貨は、ブックオフが海外で展開するリユースショップ「Jalan Jalan Japan（ジャラン・ジャラン・ジャパン）」へ届けられます。日本国内では役目を終えたモノも、海外では「Used in Japan」として状態の良さから信頼され多くのお客さまに求められています。

②【リサイクル】形を変えて、新たな製品の素材へ

衣料品でリユースが難しい状態のものは繊維としてリサイクルします。現在は国内パートナーを通じて工業用ぞうきん（ウエス）やフェルト（反毛）へ再資源化。今後は衣料やバッグ、タオルなど新たな製品に形を変え、生活者にもう一度利用していただくことにもチャレンジします。

■回収対象品目の詳細：お持ち込み前にご確認ください

本サービスでは、次に必要とする方が気持ちよく使えるよう、以下のルールを設けています。

【回収できる品物】（1度回収した品物は返却できません）

①衣料品全般

- ・著しく汚れているもの、汚物がついているものは回収できません。
- ・使用済みのマスクや下着・肌着類は回収できません。

②ファッション雑貨、生活雑貨、おもちゃ・ぬいぐるみ、スポーツ用品など

- ・廃棄物、または破損などでそれ自体が使用できないものは回収できません。
- ・電源コードが付いている家電類、バッテリーが内蔵されているものは回収できません。
- ・刃物などの危険物、火器類など発火のおそれがあるものは回収できません。
- ・飲食物、化粧品、液体物は回収できません。

■本実証実験における主な検証項目

本実験では、以下の3つの観点から「コンビニ発の循環型モデル」の有効性を検証していきます。

- ①エリア・立地ごとの回収量およびニーズの把握
- ②ストアスタッフの負担を最小限に抑えた運用フローの構築
- ③物流効率の最適化および環境負荷低減効果の算出

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

<参考情報>

■「いちばんチャレンジ」に込められた思い

ファミリーマートは、2026年9月に創立45周年を迎えます。

時代の変化に合わせ、コンビニの枠を超えてお客さまに「いちばん」と選ばれる存在であり続けるため、私たちは「あなたのいちばんをたくさん作る『いちばんチャレンジ』」を新スローガンに掲げました。

この合言葉のもと、「おいしい」「ちょっとオトク」「わくわく楽しい」「ステキが見つかる」「革新的・最先端」「環境にやさしい」「働きたい」「地域に愛される」という8つの分野に基づき、ファミリーマート史上最大の挑戦を続けてまいります。

45周年特設サイト：https://www.family.co.jp/campaign/spot/2026_45th.html

以上